

令和元年度 第1回

三浦市在宅医療・介護多職種連携研修

団塊の世代が75歳となる2025年まであと6年。遠くない未来です。三浦市の人口に対する65歳以上の人の割合は、平成31年1月1日現在で39.2%であり、すでに2025年問題に突入していますが、高齢者の皆さんは元気に暮らしています。

これからますます医療需要が増えてくる中、病院や診療所に通えなくなる方のために訪問診療の需要は高まってきます。

そして、医療から介護に移行する場面、介護から医療を受ける場面を迎え、地域包括ケアシステムをしっかりと構築するためには、医療と介護の連携ネットワークがスムーズにつながることを重要だと言えます。

地域包括ケアシステムの推進により、今後は在宅高齢者の増加が予測されます。地域で支え合う医療・福祉とは、長寿を享受した人の人生の総仕上げに立ち会う医療・福祉といえるでしょう。

その視点を持ち、食べる意味と食べる支援、その人らしさを支える食事支援について皆様と考えてみたいと思います。

今回のテーマは

地域で「食べる」を支えるとは？
～事例を通して「食べる意味・食べる支援の在り方」を考える～

日 時 令和2年1月24日（金）19時00分～21時00分（解散）

場 所 ホテルマホロバマインズ三浦 本館13階 会議室

対 象 医師・歯科医師・薬剤師・看護師・准看護師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・管理栄養士・栄養士・歯科衛生士・介護支援専門員・介護福祉士・介護職・社会福祉士・精神保健福祉士・社会福祉主事・その他必要とする関係者

定 員 50名（先着順）

主 催 三浦市
主 管 一般社団法人三浦市医師会
共 催 鎌倉保健福祉事務所三崎センター
協 力 三浦市地域ケア連携会議





内 容

進 行 三浦市医師会 理事 東 博敏 先生 (介護老人保健施設なのはな苑)

テ ー マ 地域で「食べる」を支えるとは？
～事例を通して「食べる意味・食べる支援の在り方」を考える～

講 義 講 師
医療法人財団 青山会 みくるべ病院

歯科医師・歯学博士 本間 敏道先生

【ご略歴】

1954年：東京都生まれ 中野区在住

1985年：東京医科歯科大学大学院歯学研究科修了(予防歯科学専攻)

1989～2014年：東京都杉並区等にて医療法人開設勤務(医療法人継続中)

2000～2014年：指定居宅介護支援事業所 併設

2000～2012年：東京医科歯科大学大学院 非常勤講師

(医歯学総合研究科 環境社会医歯学系 国際健康開発学講座 健康推進歯学分野)

2015～：フリーランス歯科医師

<現在の地域医療保健活動>

- #1. 杉並区歯科保健医療センター 協力医(障害者歯科診療・訪問歯科診療・摂食外来)担当医
- #2. 杉並区立障害者支援施設(こすもす生活園・なのはな生活園) 摂食指導担当 嘱託医
- #3. 東京都立永福学園(肢体不自由教育：小学部・中学部・高等部普通科・高等部就業技術科) 学校歯科医
- #4. 医療法人財団青山会 みくるべ病院 歯科・食の安全チーム 担当医
- #5. 社会福祉法人ワゲン福祉会 ワゲン療育病院長竹 摂食指導訪問医
- #6. 杉並区歯科保健医療センター医療連携推進本部 委員
- #7. 日本歯科医師会 東京都歯科医師会 杉並区歯科医師会 会員

グループワーク

質疑応答

参加申込 別紙申込書用紙に、必要事項を記入の上、FAXで、下記あてお申込みください。なお、電子メールにてご案内を希望される方は、お問い合わせ先電子メールに空メールを送信してください。

申込期限 令和2年1月16日(木)

※申込期限前でも、先着50名になり次第締め切りとさせていただきます。

問い合わせ及び申し込み先

一般社団法人 三浦市医師会事務局

TEL：046-881-2376 FAX：046-881-2392

E-mail：me156301@pastel.ocn.ne.jp